

令和6年茨城県民総合体育大会空手道競技会
兼関東空手道選手権大会県予選会の開催について

1. 日 時 令和6年5月12日(日)

受付 12時00分

審判会議 13時00分

開会式 13時30分

試合開始 13時50分

2. 会 場 東日本技術研究所武道館(堀原運動公園内)

3. 実施種目

(1) 成年男子の部

①団体組手(1チーム3名編成の市町村対抗)

②個人組手

1) 有段Aの部

各階級上位2名を関東大会出場選手とする。

(ア) - 60kg級 (イ) - 67kg級 (ウ) - 75kg級

(エ) - 84kg級 (オ) + 84kg級

2) 有段Bの部

3) 有級の部

③団体形(少年を含む4名をもって編成し、正選手は3名)

上位1チームを関東大会出場チームとする。

④個人形

1) 有段Aの部

上位2名を関東大会出場選手とし、上位1名が関東ブロック大会出場選手とする。

2) 有段Bの部

3) 有級の部

(2) 成年女子の部

①個人組手

各階級上位2名を関東大会出場選手とする。

(ア) - 50kg級 (イ) - 55kg級 (ウ) - 61kg級

(エ) - 68kg級 (オ) + 68kg級

②団体形(少年を含む4名をもって編成し、正選手は3名)

上位1チームを関東大会出場チームとする。

③個人形

1) 有段の部

上位2名を関東大会出場選手とし、上位1名が関東ブロック大会出場選手とする。

2) 有級の部

(3) 少年の部

①男子

(ア) 個人組手

上位2名を関東大会出場選手とし、関東大会で上位1名が国体出場選手とする。関東大会で同等の成績の場合は、本大会上位の者が国体出場選手とする。

(イ) 個人形

上位2名は関東大会出場選手とし、上位1名が関東ブロック大会出場選手とする。

②女子

(ア) 個人組手

上位2名を関東大会出場選手とし、関東大会で上位1名が国体出場選手とする。関東大会で同等の成績の場合は、本大会上位の者が国体出場選手とする。

(イ) 個人形

上位2名を関東大会出場選手とし、上位1名が関東ブロック大会出場選手とする。

※平成26年度より県大会の出場選手枠は設定していません。

(4) 計量について

茨城県空手道連盟指導委員会委員の指示のもと厳正に行う。

4. 出場資格

- (1) 成年男子の部・成年女子の部の選手は、平成17年(2005年)4月1日以前に生まれた者とする。但し、団体形は15歳以上とする。(中学生は除く)
- (2) 少年の部の選手は平成17年(2005年)4月2日から平成20年(2008年)4月1日までに生まれた者とする。(中学生は除く)
- (3) 選手は、(公財)全日本空手道連盟会員であり、成年男女の選手については「JKF会員マイページ」に登録していること。
- (4) 茨城県空手道連盟会員であること。(当日の会員登録はできないので事前に手続きをすること。)
- (5) 選手は、(公財)全日本空手道連盟の加盟団体に所属し、次のいずれかに該当する者であること。
 - ①日本国籍を有する者
 - ②日本国籍を有しない者は、日本永住許可の記入がある外国人登録済証明書又は3年以上日本に滞在していることを示す官公庁発行の証明書を提示できる者
- (6) 所属団体は、茨城県空手道連盟もしくは茨城県高等学校体育連盟空手道専門部に加盟していること。

5. 競技規定

(1) 組手

- ①公益財団法人全日本空手道連盟空手競技規定により行う。
- ②トーナメント方式で行う。
- ③選手は、全空連承認品の安全具を着用する。
 - ・メンホー（Ⅵ・Ⅶ以上）・拳サポーター・ボディプロテクター
 - ※成年男子、少年男子はセイフティカップを着用する。
 - ※成年女子はチェストガードを着用する。
 - ・インステップガード・シンガード（一方の競技者が赤、他方が青）
 - ※少年は高体連認定品も可とする
- ④試合時間および勝敗判定ポイントは下記の通りとする。

・成年男子・女子	2分間	8ポイント差
・少年男子・女子	2分間	8ポイント差
・成年男子・女子決勝戦のみ	3分間	8ポイント差

(2) 形

- ①公益財団法人全日本空手道連盟空手競技規定により行う。

【少年個人形／成年個人形有段 A】

- ②旗判定トーナメント方式と得点方式で行う。

(ア) 予選ラウンド

ベスト16以下（ベスト8決定まで）は旗判定トーナメント方式とし、2名同時に行う。全空連第1指定形の中から選択することとし、同じ形を繰返し演武することができる。

(イ) 準決勝ラウンド

- ・点数方式とし、1名ずつ演武する。
- ・ベスト8の選手をAグループとBグループそれぞれ4名に分ける。
- ・Aグループを赤帯、Bグループを青帯とし、以降メダルマッチまで帯の色は変わらない。
- ・演武順は抽選とする。
- ・第2指定形から選択し演武する。
- ・同点の場合は採用された最低点を比較し、次に最高点を比較し順位を決定する。それでも同点の場合は再演武とする。
- ・再演武では、予選ラウンドで使用した形は演武できない、ただし準決勝ラウンドで使用した形は繰返し演武することができる。

(ウ) メダルマッチ

- ・点数方式とし、1名ずつ演武する。
- ・予選ラウンド、準決勝ラウンドで使用していない形を演武する。
(得意形含む)
- ・同点の場合は採用された最低点を比較し、次に最高点を比較し順位を決定する。
- ・それでも同点の場合は再演武とする。

- ・再演武では、予選ラウンドで使用した形は演武できない、ただし準決勝ラウンド、決勝ラウンド及び準決勝ラウンドの再演武で使用した形は演武することができる。

(3位決定戦)

- ・Aグループの2位とBグループの3位、Aグループの3位とBグループの2位が対戦し勝者が3位となる。

(決勝戦)

- ・Aグループ、Bグループ1位同士で対戦し、勝者が全体の1位、敗者が2位となる。

【成年有段 B/有級】

③旗判定トーナメント方式とする。

- ・形選択については下表のとおりとする。

【成年団体形】

④旗判定トーナメント方式とする。

- ・形選択については下表のとおりとする。
- ・分解は行わない

⑤試合形は下記の通りとする。

		予選ラウンド (ベスト16以下)	準決勝ラウンド (ベスト8以上)	メダルマッチ (決勝戦・3位決定戦)
少年個人形		第1指定形	第2指定形	得意形
成年 個人 形	有段A	〃	〃	〃
	有段B 有級	基本形I~IV 第1第2指定形 (繰返し可)	予選ラウンドで使用していない 第1第2指定形(繰返し可)	
成年団体形			第1指定形	第2指定形
			(準決勝戦まで 繰返し可)	決勝戦 (3位決定戦は行わない)

6. 表彰

(1) 団体戦

- 1) 組手の部 第3位まで公益財団法人茨城県スポーツ協会から賞状を授与。
- 2) 形の部 男・女とも、第3位まで公益財団法人茨城県スポーツ協会から賞状を授与。

(2) 個人戦

- 1) 組手の部・形の部とも、各階級第3位まで公益財団法人茨城県スポーツ協会から賞状を授与。

7. 参加費用(傷害保険料を含む)

(1) 団体戦 1チームにつき 5,000円

(2) 個人戦 1種目 3,000円 2種目 6,000円

※入金期間4月15日～4月21日の期間に入金ください。(期間厳守)

※本大会の参加費のみの入金としてください。

8. 申込み先及び期日

(1) 申し込みは、各団体長の責任において、所定の様式により3月11日(月)から4月14日(日)までの期間にまとめて申し込むものとする。

※申し込み期間厳守

【銀行名】 常陸農業協同組合 【支店名】 御前山支店

【種別】 普通口座 【口座番号】 0013639

【口座名】 茨城県空手道連盟 代表 上久保 成人

(2) 申込先

1) 成年の部

茨城県空手道連盟 大会委員会委員 上久保成人 宛

Eメール sitokai_ogawa@yahoo.co.jp

2) 少年の部

茨城県立石岡商業高等学校

吉岡 賢祐

Eメール yoshioka.yasuhiro@yellow.ibk.ed.jp

(3) 締切日 令和6年4月22日(月): 必着(申込締切後の受付はしない。)

(4) 抽選会 令和6年4月26日(金): 高体連の先生方にお任せします。

9. 傷害処置

出場選手が競技中に負傷した場合、主催者において応急処置を行うが、その後の責任は負わない。万一に備えて、健康保険証を持参すること。また、各団体においても傷害保険等に加入しておくこと。

10. その他

(1) 各種目、各階級上位8名を今年度茨城県空手道連盟指定強化選手とする。

(2) 本大会に参加できない茨城県空手道連盟指定選手は、不参加理由を明記のうえ申し込み締切日までに強化委員会 強化委員長 飛田まで連絡すること。

(3) 前年度強化指定選手、ふるさと制度活用で出場する選手において所属する茨空連加盟団体が無い場合は、茨城県空手道連盟 強化委員会から申し込みをする。

令和4年度より関東大会成年組手競技が5階級制となり、それに伴い本大会は関東大会の予選となるため試合当日は、5階級の体重に合わせて参加すること。

国体については、階級の区分が異なる為、後日、国体男子3階級各1名の3名、女子組手代表選手1名の選考会を行う。(日程は決まり次第連絡)